

資料

首都圏整備に関する各種データ

1	人口の状況	148
1-1	首都圏各地域の人口と人口増加率の推移	
1-2	総人口に占める年齢3区分別人口の割合	
1-3	65歳以上単身世帯の状況	
1-4	大都市圏における人口移動量（平成16年）	
1-5	業務核都市における人口の状況	
1-6	業務核都市における事業所数（民間）の状況	
1-7	業務核都市における従業者数（民間）の状況	
2	活力創出に資する機能の状況	151
2-1	事務所・店舗等床面積の推移	
2-2	事務所着工床面積の推移	
2-3	製造業の対全国シェアの推移	
2-4	ソフト系IT産業の市町村別事業所数	
2-5	各都県における主要農業・林業・水産業部門のシェア等	
2-6	大学・短期大学・大学院学生数の対全国シェアの推移	
2-7	社会人特別選抜による大学学部及び大学院への入学者	
3	環境との共生	155
3-1	二酸化窒素の環境基準達成状況	
3-2	都市公園開園面積の推移	
3-3	緑地保全関連制度の指定状況	
3-4	首都圏における産業廃棄物の排出量及び全国のリサイクル率の推移	
3-5	首都圏における一般廃棄物の処理方法別の排出量及びリサイクル率の推移	
3-6	首都圏における一般廃棄物最終処分場の残余年数の推移	
4	快適な居住空間の整備	157
4-1	首都圏の利用関係別の新設住宅着工戸数の推移	
4-2	首都圏の地域別の新設住宅着工戸数の推移	
4-3	最低居住水準未達の世帯の割合	
5	将来に引き継ぐ社会資本の整備	158
5-1	首都圏における渋滞損失時間（平成14年度）	
5-2	東京圏主要鉄道路線における混雑時の平均混雑率等の推移	
5-3	首都圏と全国の貿易額の推移	
5-4	成田国際空港の輸出入貨物の背後圏	
5-5	首都圏における外貿コンテナ取扱貨物量と三大湾のシェア	
5-6	首都圏における各種電話の発信量	
5-7	東京湾岸地域の埋立の変遷	

1 人口の状況

●1-1 首都圏各地域の人口と人口増加率の推移

(単位：千人、%)

	昭和60年	S60～H2年 増加率	平成2年	H2～7年 増加率	平成7年	H7～12年 増加率	平成12年
首都圏	37,618	4.7	39,396	2.6	40,402	2.3	41,322
東京都区部	8,355	-2.3	8,164	-2.4	7,968	2.1	8,135
都心3区	325	-18.2	266	-8.4	244	10.0	268
多摩地域	3,475	6.3	3,692	3.1	3,806	3.2	3,929
近隣3県	18,444	8.1	19,941	4.3	20,803	2.6	21,354
周辺4県	7,345	3.5	7,600	3.0	7,825	1.0	7,904
全国	121,049	2.1	123,611	1.6	125,570	1.1	126,926

資料：「国勢調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

●1-2 総人口に占める年齢3区分別人口の割合

(単位：%)

		昭和55年 1980	昭和60年 1985	平成2年 1990	平成7年 1995	平成12年 2000
0～14歳人口	全国	23.5	21.5	18.2	15.9	14.6
	首都圏	23.7	21.1	17.3	15.0	13.8
	東京都	20.6	18.0	14.6	12.7	11.8
	近隣3県	25.7	22.6	18.1	15.6	14.3
	周辺4県	24.1	22.5	19.3	16.9	15.3
15～64歳人口	全国	67.3	68.2	69.5	69.4	67.9
	首都圏	68.7	70.2	72.3	72.6	71.1
	東京都	71.5	73.0	74.1	73.9	72.0
	近隣3県	67.8	69.9	72.9	73.5	72.0
	周辺4県	66.2	66.7	68.0	68.1	67.1
65歳以上人口	全国	9.1	10.3	12.0	14.5	17.3
	首都圏	7.5	8.6	10.0	12.2	15.0
	東京都	7.7	8.9	10.5	13.0	15.8
	近隣3県	6.5	7.5	8.8	10.8	13.6
	周辺4県	9.7	10.9	12.6	15.0	17.5

注：内訳の合計が100%にならないのは、数値の四捨五入の関係による。

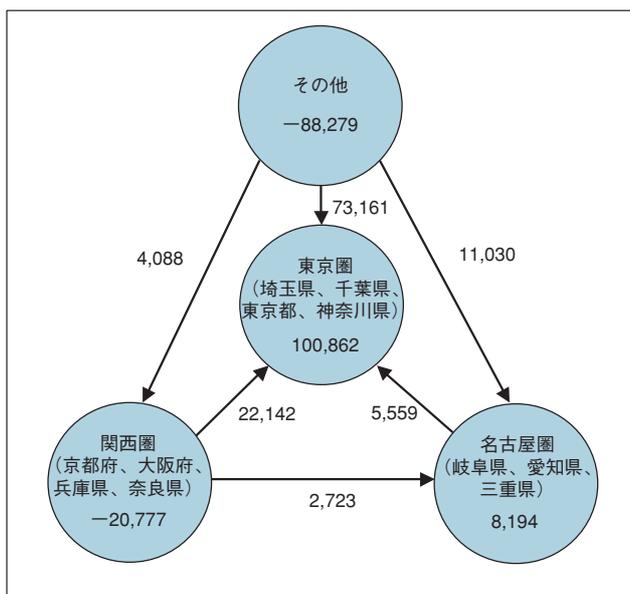
資料：「国勢調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

●1-3 65歳以上単身世帯の状況

		昭和55年 1980	昭和60年 1985	平成2年 1990	平成7年 1995	平成12年 2000
65歳以上 単身世帯数 (単位：千世帯)	全国	881	1,181	1,623	2,202	3,032
	首都圏	209	286	414	594	881
	東京都	101	134	187	265	388
	近隣3県	71	102	157	234	362
	周辺4県	37	50	70	95	131
一般世帯総数 に占める割合 (単位：%)	全国	2.5	3.1	4.0	5.0	6.5
	首都圏	1.8	2.3	3.0	4.0	5.5
	東京都	2.4	3.0	4.0	5.3	7.2
	近隣3県	1.4	1.8	2.4	3.2	4.6
	周辺4県	1.9	2.4	3.1	3.8	4.9
65歳以上人口 に占める割合 (単位：%)	全国	8.3	9.5	10.9	12.1	13.8
	首都圏	7.8	8.8	10.5	12.0	14.2
	東京都	11.3	12.7	15.1	17.3	20.3
	近隣3県	6.4	7.4	9.0	10.4	12.5
	周辺4県	5.4	6.3	7.3	8.1	9.5

資料：「国勢調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

●1-4 大都市圏における人口移動量（平成16年）



注：数字は転入者数と転出者数の差（人）を表す。

資料：「住民基本台帳人口移動報告」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

●1-5 業務核都市における人口の状況

（単位：人）

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成14年	平成15年	平成16年
全国	117,060,396	121,048,923	123,611,167	125,570,246	126,925,843	126,478,672	126,688,364	126,824,166
首都圏	35,701,559	37,618,340	39,396,483	40,402,054	41,321,883	41,173,773	41,381,929	41,568,152
東京都区部	8,351,893	8,354,615	8,163,573	7,967,614	8,134,688	8,025,538	8,083,980	8,137,651
業務核都市計	8,423,015	9,125,027	9,894,880	10,313,959	10,720,969	10,683,186	10,771,940	10,851,111
横浜市	2,773,674	2,992,926	3,220,331	3,307,136	3,426,651	3,433,612	3,466,875	3,495,117
川崎市	1,040,802	1,088,624	1,173,603	1,202,820	1,249,905	1,245,780	1,258,605	1,270,259
町田市	295,405	321,188	349,050	360,525	377,494	384,572	392,466	397,746
相模原市	439,300	482,778	531,542	570,597	605,561	600,386	604,908	608,358
厚木市	145,392	175,600	197,283	208,627	217,369	213,029	213,159	214,107
八王子市	387,178	426,654	466,347	503,363	536,046	521,359	523,829	529,226
立川市	142,675	146,523	152,824	157,884	164,709	163,934	165,410	167,801
多摩市	95,248	122,135	144,489	148,113	145,862	140,328	140,972	141,125
青梅市	98,990	110,828	125,960	137,234	141,394	139,018	139,040	139,194
川越市	259,314	285,437	304,854	323,353	330,766	325,373	326,321	327,428
熊谷市	136,806	143,496	152,124	156,429	156,216	155,894	155,626	155,422
さいたま市 ^{注1}	784,595	821,854	901,107	968,999	1,024,053	1,029,327	1,038,100	1,047,902
春日部市	155,555	171,890	188,823	200,121	203,375	204,700	204,436	204,155
越谷市	223,241	253,479	285,259	298,253	308,307	308,413	311,088	312,604
柏市	239,198	273,128	305,058	317,750	327,851	326,097	328,028	328,492
土浦市	112,517	120,175	127,471	132,243	134,702	134,371	134,240	134,050
つくば市 ^{注2}	127,402	150,074	168,466	182,327	191,814	183,696	184,876	186,674
牛久市	40,164	51,926	60,693	66,338	73,258	74,716	75,417	75,776
成田市	68,418	77,181	86,708	91,470	95,704	95,850	97,057	97,740
千葉市	746,430	788,930	829,455	856,878	887,164	880,164	888,735	894,973
木更津市	110,711	120,201	123,433	123,499	122,768	122,567	122,752	122,962

注1：平成12年以前のさいたま市の人口は、浦和市、大宮市及び与野市の総計である。

注2：昭和60年以前のつくば市の人口は、桜村、谷田部町、豊里町、大穂町、筑波町及び基崎町の総計である。

平成2年～14年のつくば市の人口は、つくば市及び基崎町の総計である。

注3：昭和55年～平成12年の人口は各調査年10月1日現在に常住している者の数である。

平成14年～16年の人口は各調査年3月31日現在に住民基本台帳に記載されている者の数である。

資料：昭和55年～平成12年は「国勢調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

平成14年～16年は「住民基本台帳人口要覧」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

●1-6 業務核都市における事業所数（民営）の状況

（単位：事業所）

	昭和56年	昭和61年	平成3年	平成6年	平成8年	平成11年	平成13年
全国	6,290,703	6,511,741	6,559,377	6,550,245	6,521,837	6,203,249	6,138,312
首都圏	1,842,741	1,932,041	1,960,650	1,966,943	1,970,027	1,870,648	1,860,928
東京都区部	656,769	657,499	634,114	629,367	620,959	580,531	577,545
業務核都市計	332,801	361,567	382,755	387,383	393,672	374,949	373,181
横浜市	110,683	116,200	120,861	121,092	123,040	115,100	114,563
川崎市	42,162	44,124	46,275	46,691	45,942	43,255	42,023
町田市	8,904	9,491	10,055	10,434	11,850	11,374	11,679
相模原市	16,951	19,344	21,285	21,712	21,504	22,805	22,020
厚木市	7,042	8,693	9,858	10,452	10,539	10,347	10,120
八王子市	14,489	15,667	16,580	16,947	19,205	18,281	18,620
立川市	7,543	7,834	7,564	7,352	7,410	7,045	7,345
多摩市	1,695	2,178	2,926	3,126	3,408	3,382	3,640
青梅市	4,301	4,723	4,946	5,005	5,187	4,872	5,074
川越市	10,079	11,107	11,560	11,599	11,398	10,914	11,094
熊谷市	7,584	7,856	7,866	7,920	8,108	7,755	7,715
さいたま市 ^{注1}	31,086	34,445	37,006	37,804	38,451	36,548	36,432
春日部市	5,604	7,174	7,521	7,624	7,703	7,374	7,347
越谷市	7,678	10,323	11,828	11,974	12,614	11,940	11,269
柏市	8,205	9,197	10,412	10,495	10,422	10,027	9,704
土浦市	6,884	7,380	7,461	7,410	7,481	6,950	6,786
つくば市 ^{注2}	4,566	5,479	5,718	5,897	6,652	6,446	6,470
牛久市	1,189	1,374	1,574	1,830	2,114	2,178	2,380
成田市	3,340	3,695	3,980	4,159	4,256	4,018	4,308
千葉市	27,305	29,442	31,690	31,980	30,834	29,157	29,290
木更津市	5,511	5,841	5,789	5,880	5,554	5,181	5,302

注1：平成11年以前のさいたま市の事業所数は、浦和市、大宮市及び与野市の総計である。

注2：昭和61年以前のつくば市の事業所数は、桜村、谷田部町、豊里町、大穂町及び筑波町の総計である。

資料：「事業所・企業統計調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

●1-7 業務核都市における従業者数（民営）の状況

（単位：人）

	昭和56年	昭和61年	平成3年	平成6年	平成8年	平成11年	平成13年
全国	45,961,266	49,224,514	55,013,776	54,366,015	57,583,042	53,806,580	54,912,703
首都圏	14,783,621	16,358,753	18,663,626	18,318,707	19,505,813	18,079,172	18,798,365
東京都区部	5,983,740	6,312,581	6,964,640	6,570,661	7,040,196	6,319,406	6,711,510
業務核都市計	2,785,374	3,223,049	3,839,953	3,883,257	4,133,330	3,896,057	4,015,390
横浜市	938,994	1,044,236	1,216,309	1,218,582	1,289,372	1,215,524	1,246,714
川崎市	414,872	454,355	505,168	499,269	504,118	468,140	464,655
町田市	65,884	81,574	96,141	99,163	113,130	105,943	115,549
相模原市	137,688	166,445	202,624	208,160	212,270	213,844	215,198
厚木市	73,692	102,936	133,342	139,141	145,871	135,096	135,712
八王子市	115,638	139,029	169,547	169,281	198,951	187,974	197,074
立川市	60,279	71,352	84,637	81,033	82,015	79,440	88,823
多摩市	15,018	21,693	40,279	44,867	48,178	51,300	52,582
青梅市	33,437	40,015	49,644	47,313	51,182	49,637	52,929
川越市	79,053	97,384	113,763	113,716	120,699	111,962	120,838
熊谷市	54,425	61,902	69,103	67,361	73,007	69,109	70,100
さいたま市 ^{注1}	248,841	286,576	344,726	356,324	392,867	366,111	374,556
春日部市	34,299	45,222	54,600	55,392	59,505	55,306	55,932
越谷市	48,363	69,028	89,152	90,121	98,235	92,824	92,360
柏市	64,815	77,299	98,149	101,025	105,082	100,574	104,218
土浦市	53,098	59,560	68,539	66,555	72,250	66,393	68,047
つくば市 ^{注2}	25,893	38,492	50,516	54,062	65,699	64,460	67,767
牛久市	7,280	9,285	13,351	15,084	17,283	17,871	19,973
成田市	42,342	48,928	65,388	66,606	73,423	71,330	78,154
千葉市	236,162	266,306	327,908	347,328	364,175	332,173	350,984
木更津市	35,301	41,432	47,067	42,874	46,018	41,046	43,225

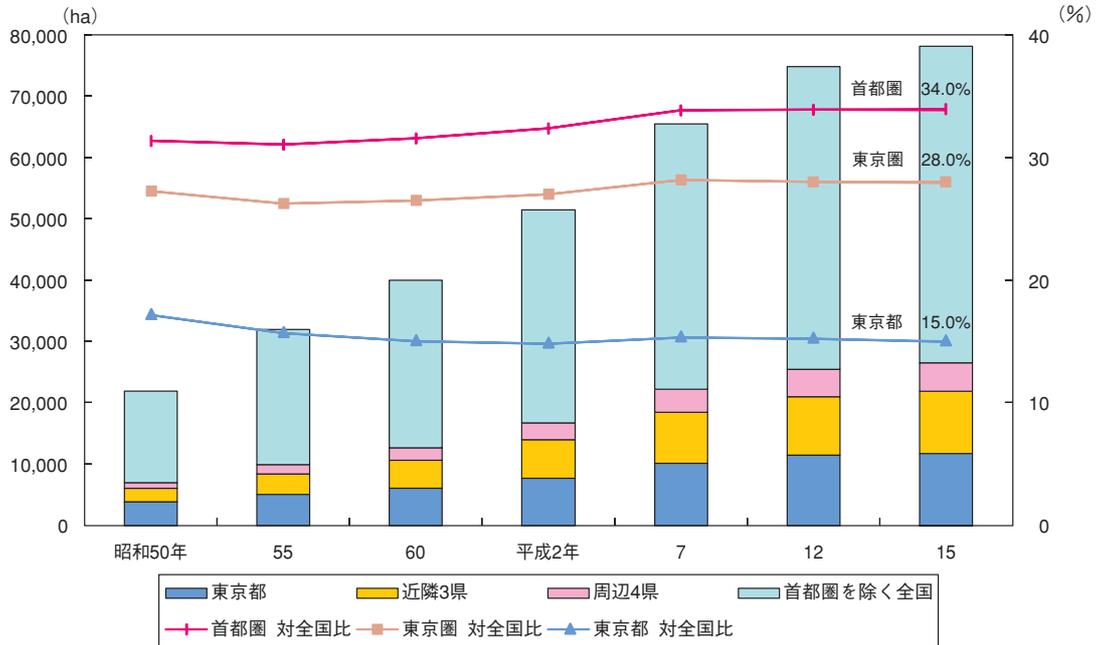
注1：平成11年以前のさいたま市の従業者数は、浦和市、大宮市及び与野市の総計である。

注2：昭和61年以前のつくば市の従業者数は、桜村、谷田部町、豊里町、大穂町及び筑波町の総計である。

資料：「事業所・企業統計調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

2 活力創出に資する機能の状況

●2-1 事務所・店舗等床面積の推移

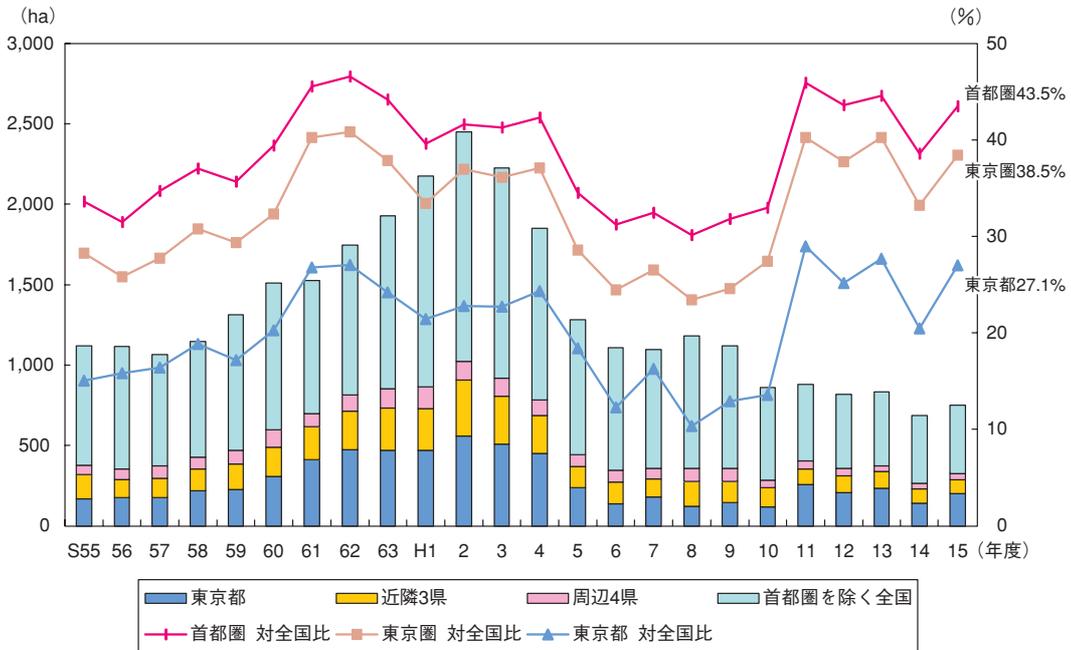


注1：事務所・店舗等とは、木造の事務所・銀行及び店舗並びに非木造の事務所・店舗・百貨店及び銀行を指す。

注2：折れ線グラフは、それぞれ対全国比を表す。

資料：「固定資産の価格等の概要調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

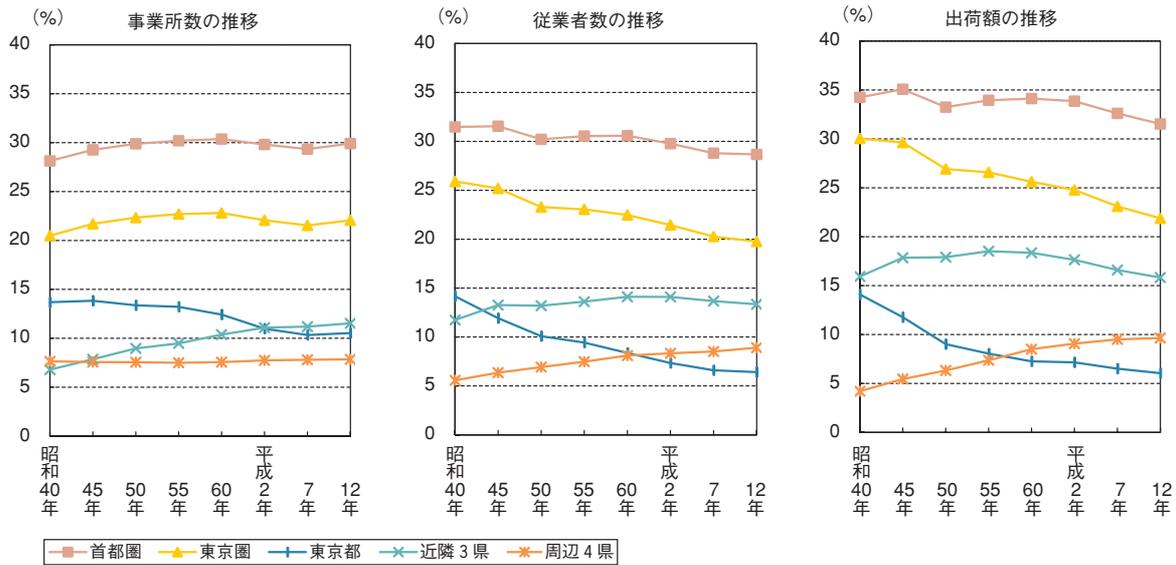
●2-2 事務所着工床面積の推移



注：折れ線グラフは、それぞれ対全国比を表す。

資料：「建築統計年報」（国土交通省）により国土交通省国土計画局作成

●2-3 製造業の対全国シェアの推移



資料：「工業統計表」（経済産業省）により国土交通省国土計画局作成

●2-4 ソフト系IT産業の市町村別事業所数

	平成12年9月	平成13年9月	平成14年9月	平成15年9月	平成16年9月
茨城県	536	567	578	590	584
水戸市	107	107	115	116	114
日立市	93	98	98	97	94
つくば市	78	87	85	83	85
ひたちなか市	54	60	62	66	67
土浦市	53	49	44	48	
栃木県	276	308	308	324	315
宇都宮市	141	155	169	177	176
群馬県	465	477	477	451	445
前橋市	139	139	137	136	132
高崎市	133	133	133	130	121
太田市	50	52	46	44	
埼玉県	886	906	902	920	917
さいたま市	242	263	262	258	261
浦和市	123	-	-	-	-
大宮市	119	-	-	-	-
与野市	15	-	-	-	-
川越市	55	60	56	56	57
川口市	62	57	56	60	53
千葉県	831	848	818	830	830
千葉市	192	199	192	190	201
船橋市	80	83	82	87	84
市川市	76	75	79	70	69
柏市	75	72	72	67	64
松戸市	68	69	60	67	67
東京都	10,266	10,870	10,621	10,871	10,796
23区	9,275	9,845	9,938	9,847	9,770
八王子市	144	149	153	134	141
府中市	108	112	107	105	95
立川市	102	105	114	112	113
町田市	91	91	101	98	96
武蔵野市	91	87	85	87	87
三鷹市	55	60	57	53	52
多摩市	53	60	66	62	62
神奈川県	2,088	2,176	1,772	2,157	2,181
横浜市	1,106	1,151	1,123	1,141	1,132
川崎市	382	387	389	394	395
相模原市	116	116	114	109	109
藤沢市	74	78	76	79	90
厚木市	69	76	70	70	72
山梨県	165	165	94	180	181
甲府市	83	86	94	92	91
首都圏計	15,513	16,317	16,399	16,323	16,249
全国計	33,778	35,769	36,106	35,828	35,957

注1：さいたま市の平成12年9月、平成11年9月は浦和市・大宮市・与野市を合計したもの。

注2：ソフト系IT産業はタウンページの業種分類において以下の3業種。

ソフトウェア業・情報処理サービス・インターネット関連サービス

資料：NTTタウンページデータにより国土交通省国土計画局作成

●2-5 各都県における主要農業・林業・水産業部門のシェア等

主要農業部門のシェア等（平成15年）

	農業産出額 (億円)	全国順位	農業産出額部門別シェア (%)						耕地面積 (千ha)
			1位		2位		3位		
全 国	89,986		畜産	27.6	米	25.7	野菜	23.2	4,736
首都圏	17,367		野菜	35.3	畜産	23.4	米	23.2	667
千葉県	4,319	2	野菜	39.6	米	23.4	畜産	20.5	135
茨城県	4,194	3	野菜	33.7	米	28.7	畜産	22.2	178
栃木県	2,786	9	米	34.0	畜産	29.4	野菜	25.2	131
群馬県	2,210	17	畜産	37.7	野菜	36.9	米	10.1	80
埼玉県	2,004	19	野菜	41.9	米	25.7	畜産	14.8	86
山梨県	823	36	果実	58.3	野菜	13.7	米・畜産	9.8	26
神奈川県	751	39	野菜	49.4	畜産	25.8	果実	9.5	21
東京都	280	47	野菜	57.5	花き	16.4	果実・畜産	8.9	8

資料：「生産農業所得統計」、「耕地及び作付面積統計」（農林水産省）により国土交通省国土計画局作成

主要林業部門のシェア等（平成15年）

	林業産出額 (千円)	全国順位	林業産出額主要部門別シェア (%)						森林面積 (千ha)
			1位		2位		3位		
全 国	45,025		木材生産	51.8	栽培きのご類	45.9	薪炭生産	1.7	24,490
首都圏	4,130		栽培きのご類	62.7	木材生産	35.6	薪炭生産	1.7	1,745
群馬県	1,313	10	栽培きのご類	82.1	木材生産	16.9	薪炭生産	1.0	405
栃木県	1,183	14	木材生産	51.2	栽培きのご類	47.9	薪炭生産	0.8	344
茨城県	797	18	栽培きのご類	61.0	木材生産	37.3	薪炭生産	1.6	189
埼玉県	280	36	栽培きのご類	61.8	木材生産	36.8	薪炭生産	1.4	123
千葉県	237	39	栽培きのご類	57.8	木材生産	40.9	薪炭生産	1.3	163
山梨県	163	41	栽培きのご類	44.8	木材生産	39.3	薪炭生産	15.3	348
神奈川県	83	44	木材生産	50.6	栽培きのご類	47.0	薪炭生産	2.4	95
東京都	74	45	木材生産	51.4	栽培きのご類	48.6	薪炭生産	0.0	78

資料：「生産林業所得統計」、「2000年世界農林業センサス」（農林水産省）により国土交通省国土計画局作成

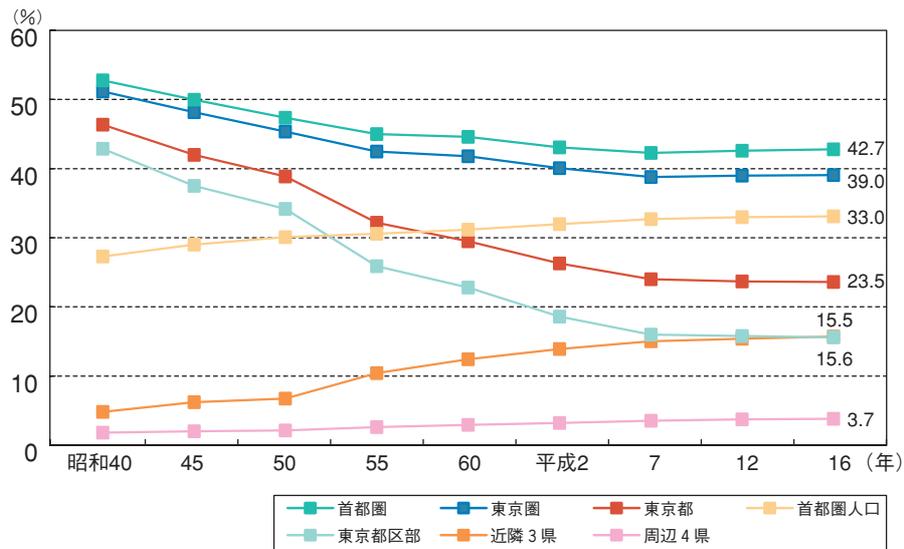
海面における主要水産業部門のシェア等（平成15年）

	漁業生産額 (海面漁業・養殖業) (億円)	全国順位	漁業生産額魚種別シェア (%)						生産量 (海面漁業・養殖業) (千t)
			海面漁業			海面養殖業			
			1位		2位		1位		
全 国	14,843		まぐろ類	14.3	いか類	9.5	海藻類	25.1	5,973
首都圏	908		まぐろ類	16.6	いわし類	14.6	海藻類	92.0	631
千葉県	343	14	いわし類	19.0	その他の魚類	16.2	海藻類	94.9	226
東京都	236	20	まぐろ類	26.5	かつお類	16.1	×	×	140
茨城県	170	27	いわし類	33.1	いか類	11.4	×	×	213
神奈川県	159	29	まぐろ類	42.6	いか類	10.3	海藻類	97.4	52
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：「漁業・養殖業生産統計」（農林水産省）により国土交通省国土計画局作成

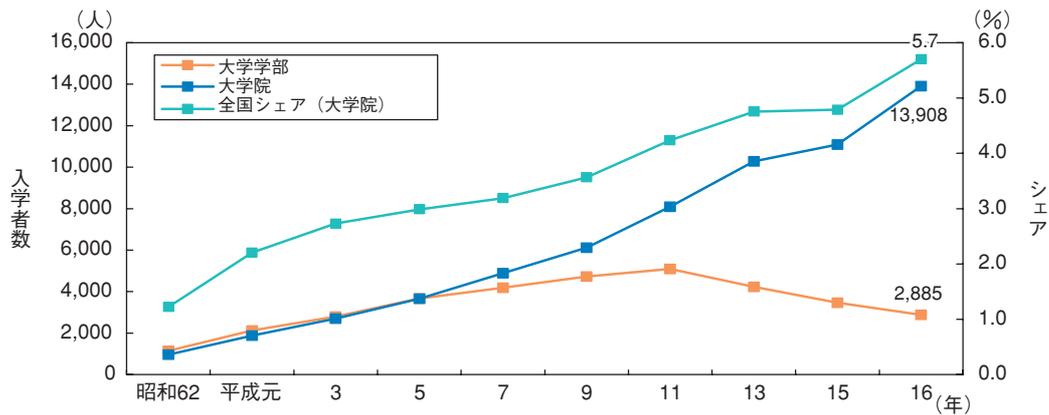
※東京都・茨城県における海面養殖業の魚種別生産額については、秘密保護上統計数値を公表していない。

●2-6 大学・短期大学・大学院学生数の対全国シェアの推移



注：地域区分は、在籍する学部、研究科、学科等の所在地による。
 資料：「学校基本調査」(文部科学省)、「平成16年10月1日現在推計人口」(総務省)により国土交通省国土計画局作成

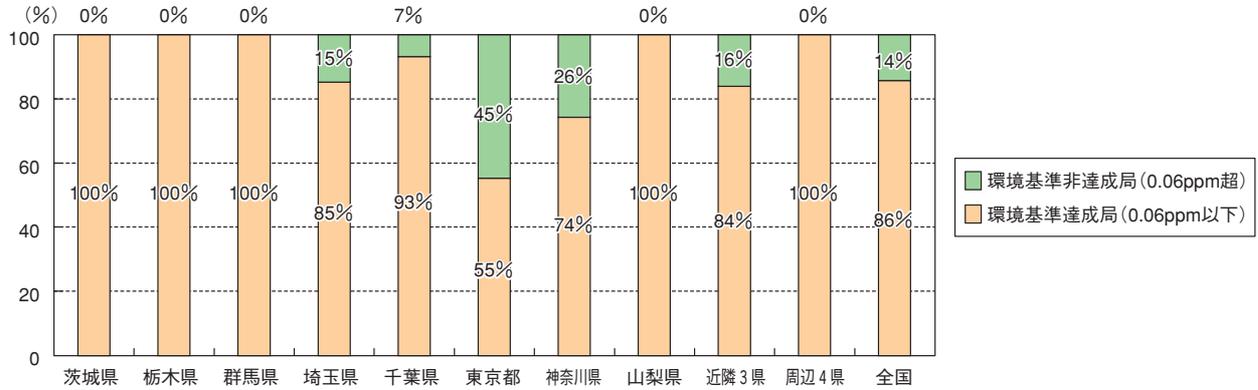
●2-7 社会人特別選抜による大学学部及び大学院への入学者



注：大学院は、修士課程、博士課程、専門職学位課程(平成15年4月創設)の社会人入学者数の合計値。
 資料：文部科学省資料により国土交通省国土計画局作成

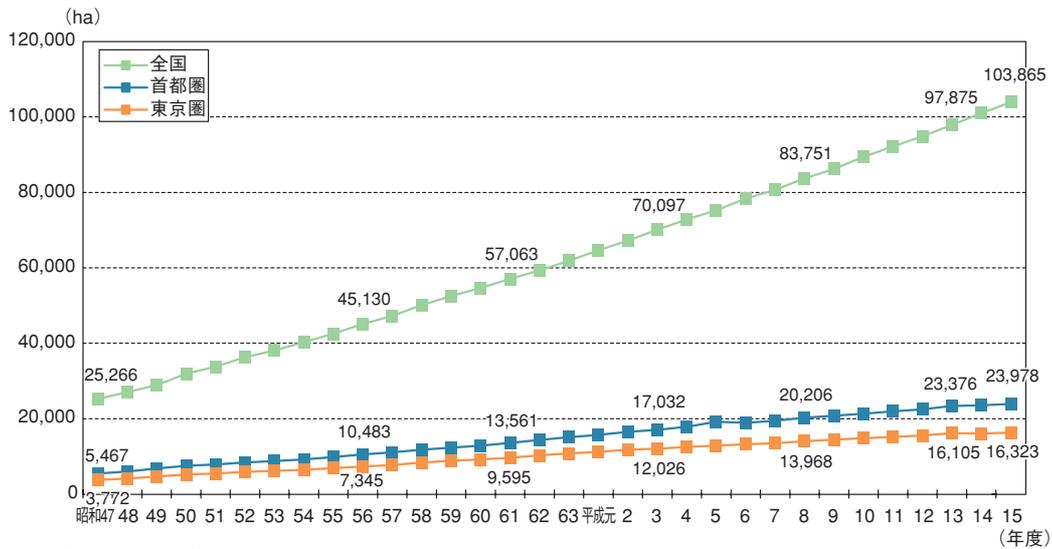
3 環境との共生

● 3-1 二酸化窒素の環境基準達成状況（自動車排出ガス測定局）



資料：「平成15年度 大気汚染状況報告書」（環境省）により国土交通省国土計画局作成

● 3-2 都市公園開園面積の推移



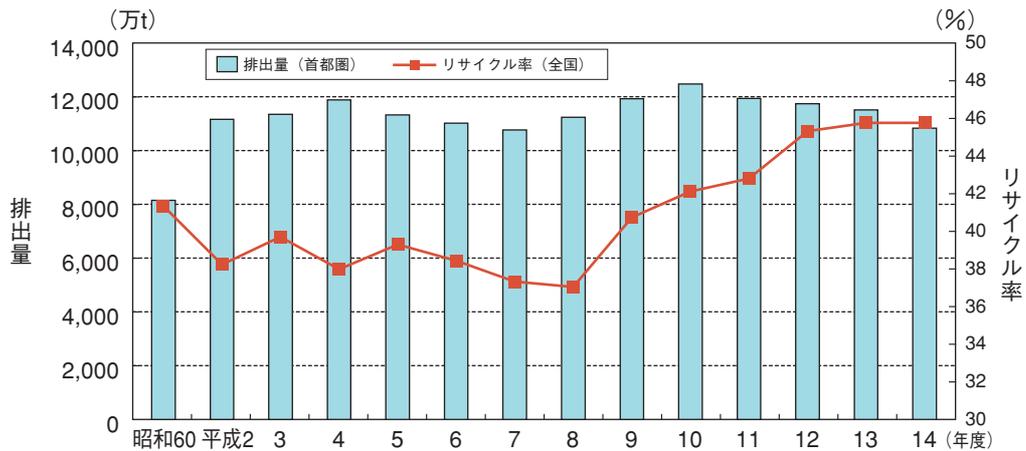
注：各年度3月31日現在の数値。
資料：国土交通省資料により国土計画局作成

● 3-3 緑地保全関連制度の指定状況

	S61年度		H5年度		H15年度	
	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)
特別緑地保全地区	22	143	47	281	94	437
近郊緑地保全区域	18	15,693	18	15,693	18	15,693
近郊緑地特別保全地区	8	653	8	655	9	759
歴史的風土保存区域	5	956	5	956	5	989
歴史的風土特別保全地区	9	266	13	571	13	574

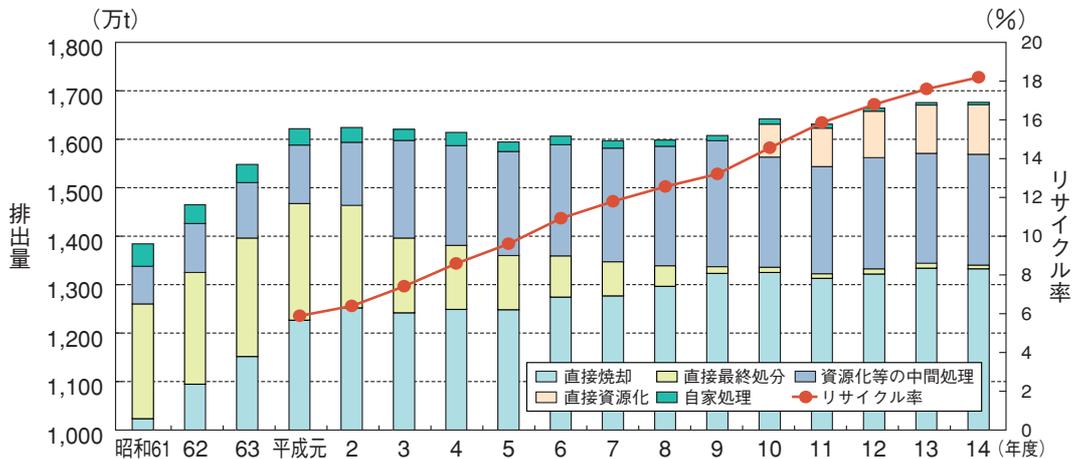
注：各種制度は、都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法、古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法による。
特別緑地保全地区には近郊緑地特別保全地区を含まない。
資料：国土交通省資料により国土計画局作成

●3-4 首都圏における産業廃棄物の排出量及び全国のリサイクル率の推移



資料：環境省資料により国土交通省国土計画局作成

●3-5 首都圏における一般廃棄物の処理方法別の排出量及びリサイクル率の推移



注1：処分方法別の処分量を元に作成している。

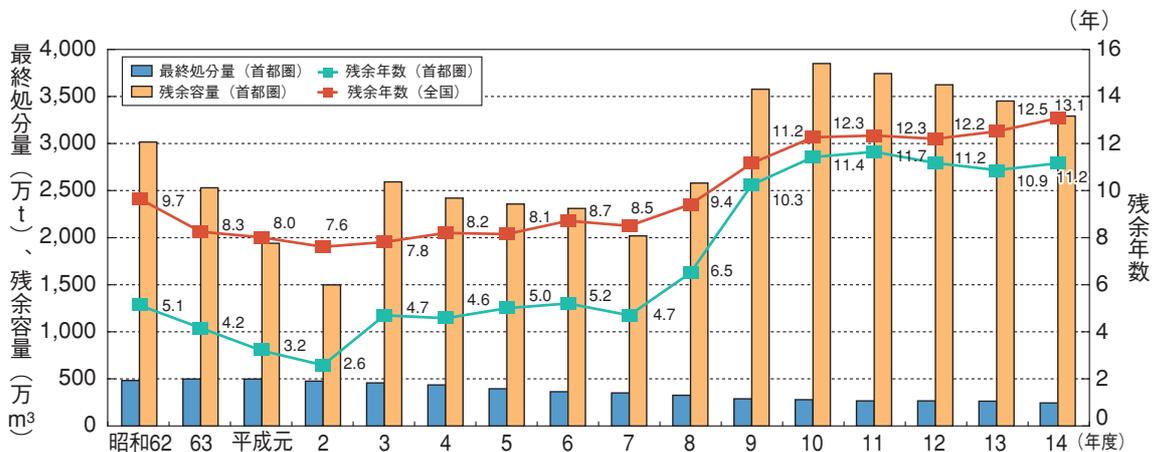
注2：「資源化等の中間処理」の処理方法は、高速堆肥化施設、粗大ごみ処理施設、資源化等を行う施設、ごみ燃料化施設及びその他における処理をいう。

注3：排出量には集団回収量は含まない。

注4：リサイクル率 = (中間処理後の再生利用量 + 直接資源化量 + 集団回収量) / (ごみ排出総量 + 集団回収量)。

資料：環境省資料により国土交通省国土計画局作成

●3-6 首都圏における一般廃棄物最終処分場の残余年数の推移

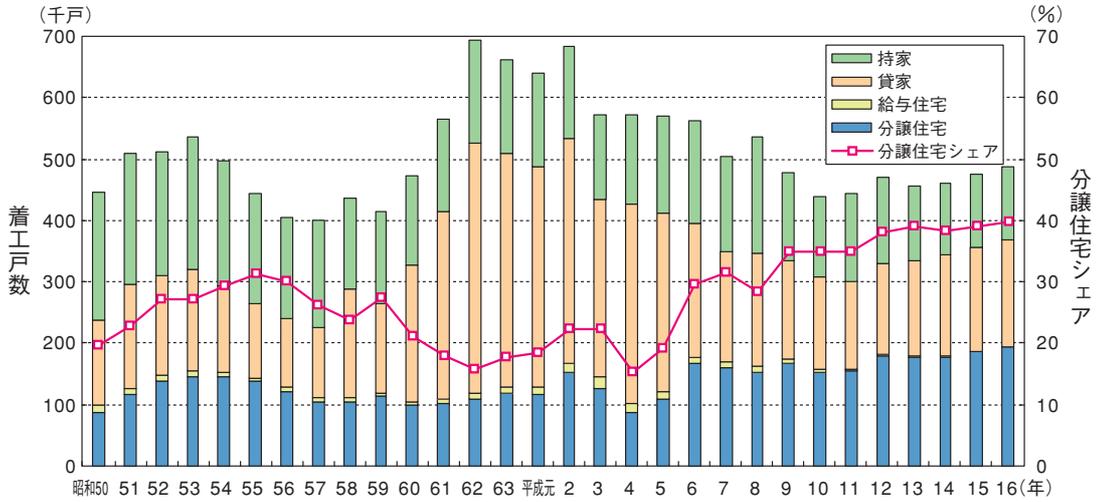


注：残余年数 = 当該年度の処分場残余容量 / (当該年度の最終処分量 / 埋立ごみ比重 (=0.8163))。

資料：環境省資料により国土交通省国土計画局作成

4 快適な居住空間の整備

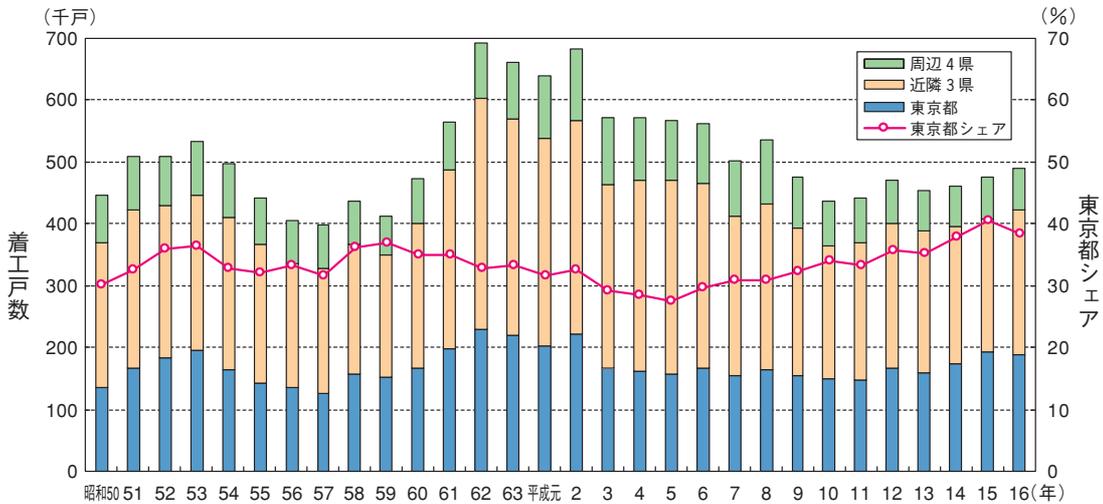
●4-1 首都圏の利用関係別の新設住宅着工戸数の推移



注：「持家」とは、建築主が自分で居住する目的で建築するもの。「貸家」とは、建築主が賃貸する目的で建築するもの。「給与住宅」とは、会社、官公署、学校等がその社員、職員、教員等を居住させる目的で建築するもの。「分譲住宅」とは、建て売り又は分譲の目的で建築するもの。

資料：「住宅着工統計」（国土交通省）により国土計画局作成

●4-2 首都圏の地域別の新設住宅着工戸数の推移



資料：「住宅着工統計」（国土交通省）により国土計画局作成

●4-3 最低居住水準未達の世帯の割合

全 国	関 東 大 都 市 圏			うち3～5人世帯
	6.3	うち持ち家	うち借家	
		1.8	12.7	
4.17				14.8

注：「最低居住水準」とは、住宅建設五箇年計画においてすべての世帯が確保すべき水準として位置付けられたもの。例えば4人世帯の場合で住戸専用面積50㎡である。「京浜葉大都市圏」とは、東京特別区、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市（以下「中心市」）及び周辺市町村。「周辺市町村」とは、中心市への通勤通学者（15歳以上）の割合が当該市町村人口の1.5%以上でかつ中心市と接続している市町村等。

資料：「住宅・土地統計調査（H15）」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

5 将来に引き継ぐ社会資本の整備

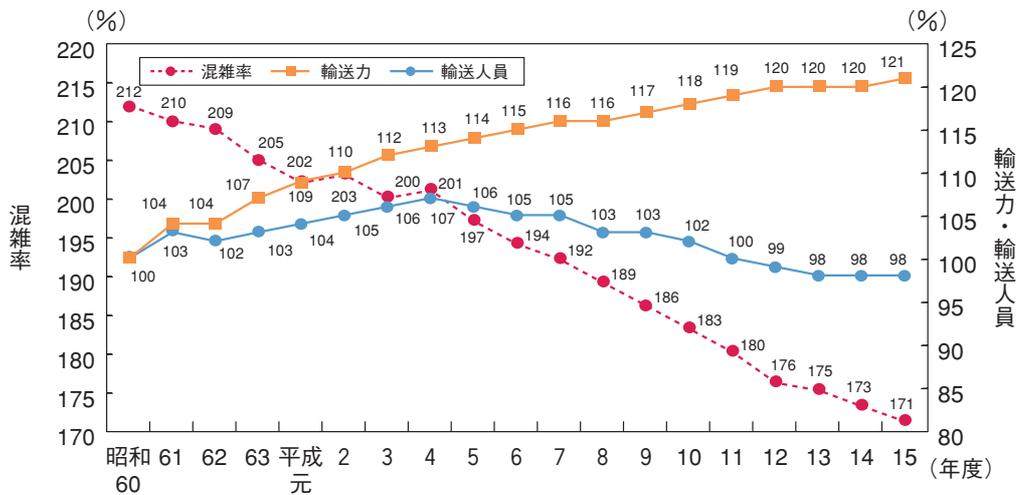
●5-1 首都圏における渋滞損失時間（平成14年度）

	東京都	神奈川県	千葉県	埼玉県	茨城県	栃木県	群馬県	山梨県	全国
渋滞損失時間 (万人時間/年)	36,910	17,018	15,543	18,673	9,718	6,154	7,543	4,194	380,796

注：「渋滞損失時間」とは、一般都道府県道以上の道路における、渋滞がない場合の所要時間と実際の所要時間の差を求めたもの。
年間1万人時間の損失とは、1年間に1万人の人が各々1時間損失することを意味する。

資料：国土交通省

●5-2 東京圏主要鉄道路線における混雑時の平均混雑率等の推移



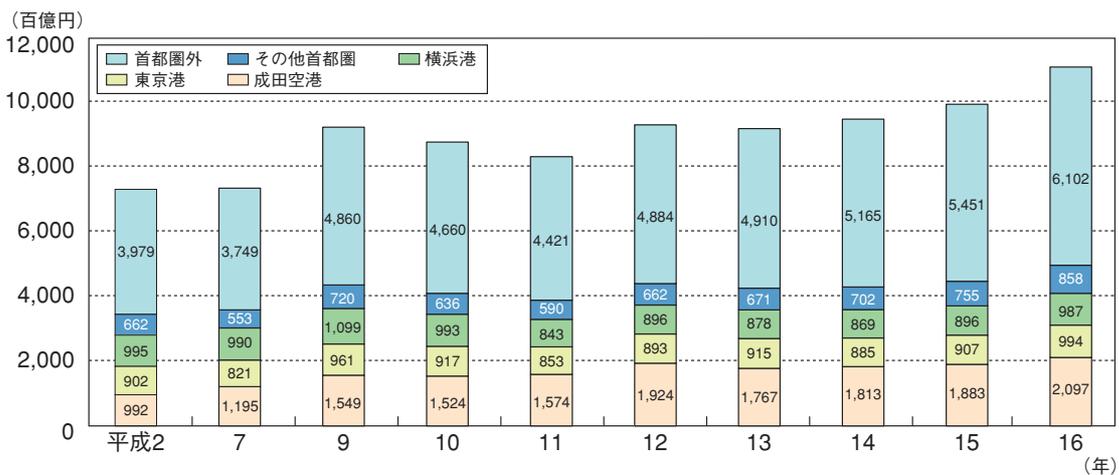
注：輸送力、輸送人員は、昭和60年度を100とした伸び。

混雑率 = (輸送人員) ÷ (輸送力) (%)。

東京圏の主要なJR、地下鉄、大手民鉄路線（31路線）最混雑区間の平均値。

資料：国土交通省資料により国土計画局作成

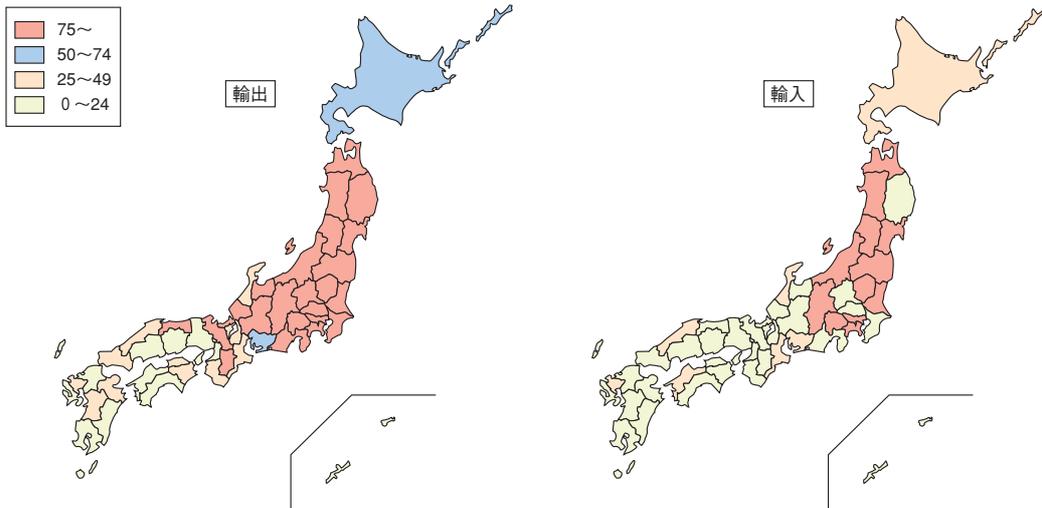
●5-3 首都圏と全国の貿易額の推移



資料：「外国貿易概況」(財)日本関税協会)により国土交通省国土計画局作成

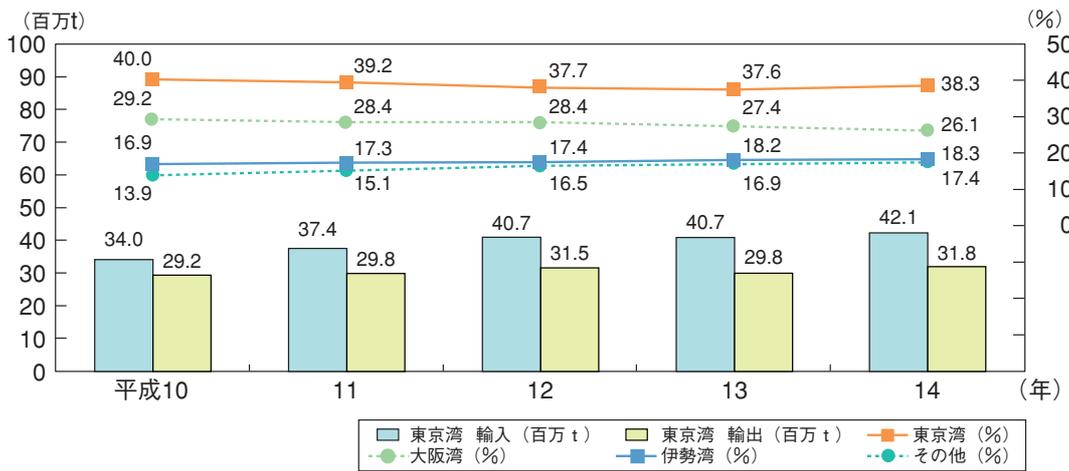
●5-4 成田国際空港の輸出入貨物の背後圏

各都道府県の輸出入航空貨物に占める成田空港のシェア(%)



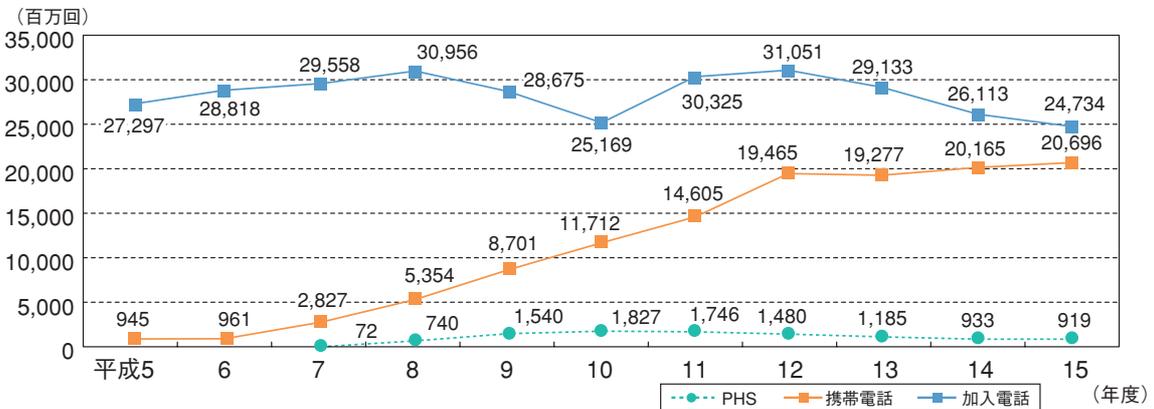
資料：「輸出入貨物に係る物流動向調査（平成15年4月）」（財務省関税局）により国土交通省国土計画局作成

●5-5 首都圏における外貿コンテナ取扱貨物量と三大湾のシェア



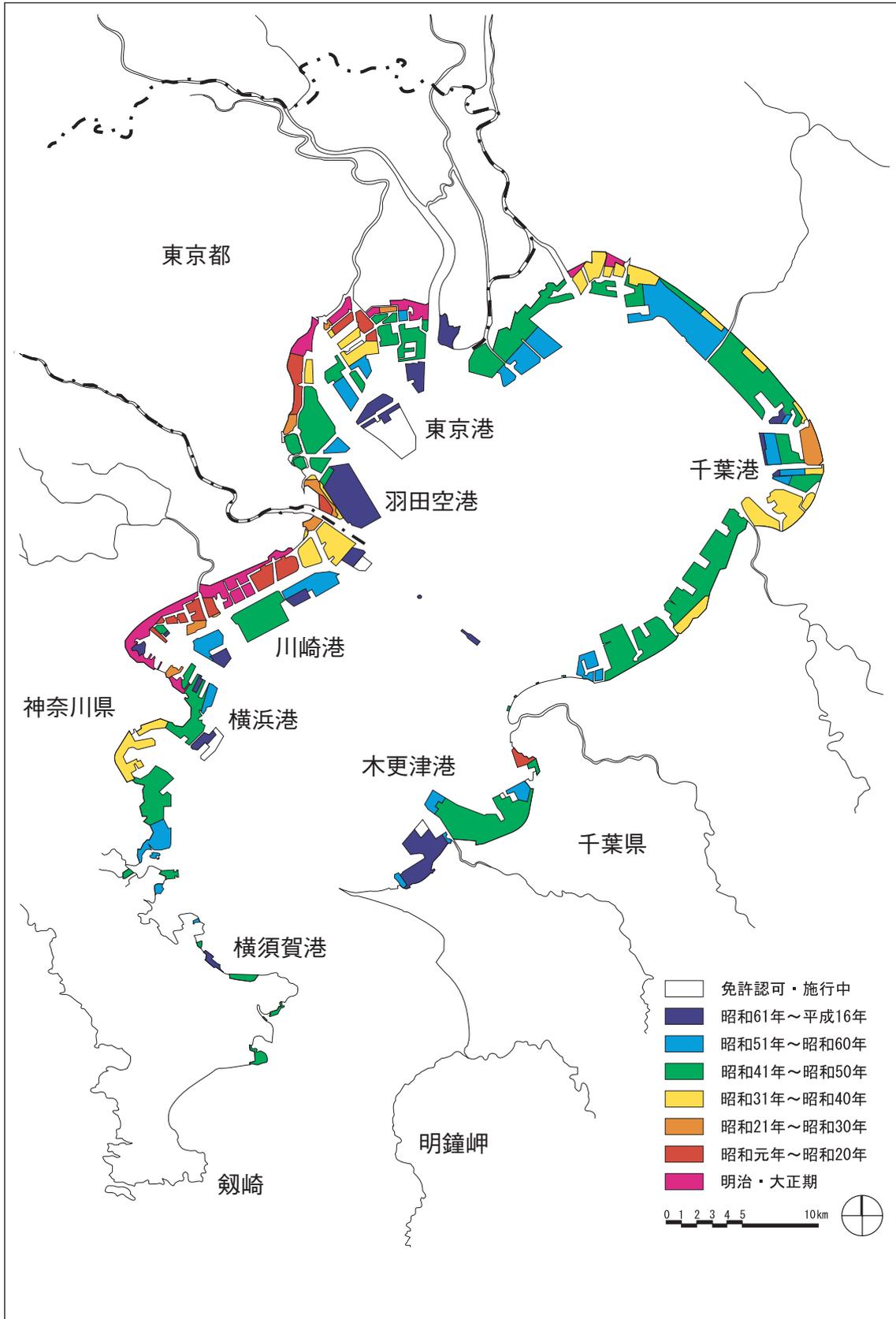
注：グラフの総和が100%とならないものは、数値の四捨五入の関係による。
資料：「港湾統計（年報）」（国土交通省）により国土交通省国土計画局作成

●5-6 首都圏における各種電話の発信量



資料：「トラフィックからみた我が国の通信利用状況」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

●5-7 東京湾岸地域の埋立の変遷



資料：国土交通省国土計画局調べ